

令和3年度後期・令和4年度 前期生徒会本部役員決定

★新生徒会本部 10月4日(月)~

会長	佐藤 葉月
副会長	石川 杏紗、町田 翔真
役員	岡田 碧馬、栗原 愛心、横田 悠真 馬場 奏、小林 天音 井上 宙心、齊藤 真菜美

【新会長のことば】(佐藤 葉月)

この度、生徒会長になりました佐藤葉月です。私は、よりすばらしい滑川中学校を皆さんと一緒に追いかけていきたいと思っています。

私たち、1日の約半分の時間を、この滑中で過ごしています。多くの時間を、様々な体験を通して有意義な時間にするために、様々な取組を考えていきたいと思います。

充実した学校生活とするには、みなさん生徒一人一人の御協力が不可欠です。皆さんの思いや意見を大切にし素晴らしい滑中を目指します。生徒全員で、さらに良い滑川中学校を築いていきたいです。

【旧生徒会長のことば】(上原 愛唯)

一生に一度しかない中学校生活で、生徒会長という重要な役割を任せさせていただいたことに感謝しています。1年前、不安な気持ちの中、生徒会活動が始まりました。しかし、一つ一つの行事を本部役員の最高の仲間と創り上げることで不安が自信へと変わりました。私は、会長として、全校生徒と取り組んだ時間をこれからも大切にします。新生徒会本部の皆さん、自信と誇りを持って頑張ってください。

【校長先生からのメッセージ】

今まで頑張ってきた旧本部役員の皆様お疲れさまでした。

皆さんは、滑川中の伝統を引き継ぐだけでなく、新しい生徒会活動の在り方を示してくれました。

次に、新生徒会本部役員に当選された皆さんおめでとうございます。これから、滑川中の顔としての、また、600名近い生徒を代表する者としての自覚と行動が求められます。皆さんには、滑川中のよき伝統の継承と新たな文化の創造を期待しています。

女子用スラックスについて

年度当初よりお伝えしてある通り、女子用スラックスの購入希望者への販売準備ができました。11月より着用ができるように紹介をいたします。

各販売業者より、プリントにて御紹介があった通り、購入希望のある御家庭は、案内状にそって購入してください。

着用についてのルールは、スカート着用時と同じです。

御不明な点がございましたら、教頭荻野までお問い合わせください。

櫻をつなげ!・コロナに負けるな! 10月25日「比企駅伝」スタート

新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言が出され、新人戦が中止となるなか、関東大会・全国大会へつながる駅伝大会は、実施できる運びとなりました。

勉強と練習・そして感染予防と様々な対応や気遣い等ありますがすべてに打ち勝つて成果が出ることを応援しています。

行事予定

- | | |
|----------------------|-------------|
| 【11月】下校時間 16:30(1日~) | |
| ・1日(月) 3年生実力テスト | ・6日(土) 県駅伝 |
| ・12日(金) 1年生き方講演会 | ・14日(日)県民の日 |
| ・16日(火)~24(水) 全校三者面談 | |
| ・25日(木)~26(金) 期末テスト | |
| ・26日(金) 全校非行防止教室 | |

行事予定 10月

1 金	
2 土	滑川幼稚園運動会(駅伝試走)
3 日	
4 月	B日課開始 後期委員会(係)開始
5 火	3年実力テスト 進路説明会、PTA本部役員会(16:00)
6 水	
7 木	特別日課5時間(木1・木2・木3・木4・木5) 部活動停止期間
8 金	月の輪小就学時健診 特別日課5時間(金1・金2・金3・金4・金5)
9 土	英検1次
10 日	
11 月	中間テスト
12 火	中間テスト
13 水	
14 木	健全あいさつ 2年校外学習(遠足)
15 金	全校集会(オンライン) 委員会の日
16 土	
17 日	
18 月	宮前小就学時健診
19 火	「命の教育」講演会 PTA本部役員会
20 水	ふれあい弁当 交通安全指導、福田小就学時健診
21 木	学校運営協議会
22 金	
23 土	漢検
24 日	
25 月	比企駅伝大会
26 火	
27 水	
28 木	
29 金	
30 土	宮前小・月の輪小運動会
31 日	



開校60周年

学び考える生徒 思いやりのある生徒 すすんで心身を鍛える生徒

滑中だより

令和3年10月1日発行 第6号 発行者 校長 八木原利幸



いい本に出会い、本の魅力を知る

緊急事態宣言はようやく解除されましたが、引き続き緊張感をもって感染予防に取り組まなければなりません。

さて、季節はすっかり秋らしくなり、「読書の秋」が到来しました。本町では、今年3月に子供たちが本の世界に触れ、心豊かに生きていくことができるよう、「滑川町子ども読書活動推進計画」を策定しました。背景には、スマートフォン等情報通信機器の過剰な使用による「読書離れ」や「語彙力の欠如」などがあると思われます。「読書の秋」と言えども、中秋の名月をゆっくり眺めながら読書に親しむという人は、今は少ないでしょう。

本校ではこれまで、図書委員によるお勧め本の紹介や自ら作成したポスターと図書館だよりで新刊本を紹介したり、子供たちの興味・関心に合わせた本の整備や本の並べ方を工夫したりするなど、読書活動の推進を心掛けてきました。さらに、長期休業中に読んだ本の紹介をしあうなど、ビブリオバトルにも挑戦しています。

読書は、想像力や考える習慣を身に付け、豊かな感性や情操、思いやりの心をはぐくむことができると言われています。ですから、読書離れが進んでしまった人には、本を読む時間をもつよう習慣づけて欲しいと願っています。

東京大学名誉教授の小林康夫氏は、「本は、一人の著者が時間をかけて思いを込めて創造した、いわば『世界』が書かれている。だから本とは、一つの『作品』なのです。一枚の絵画や一曲の音楽、一つの舞台などと同じです」と言っています。さらに、「若い時の読書は、とても重要だ」とも言っています。たしかに、本を読んでいくと、著者の提示した世界を想像しながら、今の自分自身と比べ、共感する部分や、全く想像もつかなかった世界に引き込まれていくことがあります。それが仮に、著者が意図したものと違っていても読んだ人は、その人なりにその世界を想像し、自分とは違う世界を知ることができます。そこには必ず心を刺激する何かが存在し、そのことによって自分自身の脳を働かせ、考えを巡らせて精神的・思考的に自分自身を成長させていくことにつながるのかも知れません。読書をするために年齢は関係ありませんが、やはり、成熟読書期といわれる中学生期の読書は、とても大事だと思います。

そのためには、「食事の時間」があるように「読書の時間」を強く意識して生活の中に設定するのが有効なのではないでしょうか。本校では、朝読書の時間を設定していますが、皆さんはしっかりと読書が出来ていますか。また、どんな本を読んでいますか。

この朝の習慣が少しでも家の中での生活に生きてくるといいと思います。家に帰るとずっとスマホをいじり、SNSやゲームばかりという人はいませんか。そんな時間の一部を読書にあてられるといいと思います。きっと本との出会いから素晴らしい感動が得られることでしょう。

よりよい学校生活を送るために！《講演会実施》

子供たちには、社会貢献ができる自律した一人の人間として力強く生きていく力を身に付けて欲しいと思います。そのためには、「自分で考える力」や「感じ方」などを形成するために必要な「心」や「人間力」を磨くことが大切です。

そこで、知的好奇心を大いに刺激し、創造性や個性を伸長することができるようないいお話をたくさん聞いて、今後の学校生活をよりよく送ってもらうことを願い、PTAの支援を受け、下記の日程で講演会を実施いたします。

- 3学年 10月19日(火) 14時40分~16時00分 場所 体育館
演題 「命の授業」 - ありがとう 命の時間 - (仮題)
株式会社ティア 代表取締役社長 富安徳久 氏
- 1学年 11月12日(金) 14時40分~16時00分 場所 体育館
演題 「新聞から学ぶ - 活字に親しみ活字の魅力を感じる」 (仮題)
(活字に親しみ、活字の魅力を感じ、活字から学ぶ力を育む)
株式会社埼玉新聞社 編集管理幹 吉田俊一 氏
- 2学年 令和4年1月19日(水) 14時40分~16時00分 場所 体育館
演題 「夢の実現のために」 (仮題)
(将来に対して夢を抱き、進路を決定していく力を育む)
学校法人昌平学園 昌平中学・高等学校 校長 城川雅士 氏

